



次々と個性豊かな思い思いの作品が仕上がっていった

どの作品が、モザイクアートに？

常盤公園を飾るデザインの原画作り

防災公園として常盤小学校の東側で整備中の常盤公園。この公園の広場部分の路面を飾るモザイクアートの原画づくりに、同小の全児童約700人が取り組みました。

4月下旬から6月にかけて、クラスごとに、図工の時間に挑戦。子どもたちは30×30のマスキが印刷された紙に向かい、スポーツシーンや花、オリジナルキャラ、文字などを描いていました。

常盤公園は、地域の声や考えを取り入れて整備が進められています。モザイクアートもその一つ。今後、描かれた原画のなかから選りすぐったものをもとに、モザイクアートにしていきます。モザイクアートは、来春の公園完成時にお披露目される予定です。

セミナーの最後では、小児科医5人が壇上に上がり、予防接種や熱性けいれんなど、会場からの質問に丁寧に答えていた



病気の特徴や対処法を学ぶ

子育てキャラバン隊in総社

子育てのあり方や子どもの急な病気への対処法などの話を聞き、家庭の保育力の向上に役立ててもらおうと、「子育てキャラバン隊in総社」が5月30日、総合福祉センターで開催されました。

子育て中の人や子育て支援の関係者ら約150人が参加。特別講演では、くらしき作陽大学の菅原伸康准教授が、「『相互育ち』から『子育て』を考える」と題して講演。人が発達し育つため、子ども、大人、老人が相互にからむことのできる「異年齢のまなび」が核家族の多い現代では大切だと説きました。

セミナーでは、「子どもが病気になった時」をテーマに小児科医5人が一人ずつ講演。小児科医が話す、発熱やおうと、下痢、呼吸障害、出血などの特徴や対処法について、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▶6月2日撮影

タンチョウのヒナ誕生

6月2日、きびじつるの里で飼育されているタンチョウのロード(父)とキビノ(母)にヒナが誕生しました。4月29日に卵を産み約1か月間、2羽のタンチョウが温めてふ化。同施設での自然ふ化は、初めてのことです。



総社中学校では、渡り廊下の手すりのペンキの塗り直しを行った(写真左)。岡山自動車道の側道で、ごみを回収(写真右)

ありがとうございました

三菱からのお礼

市が3月に緊急景気対策として、三菱車の新車購入に10万円の助成をしたことに対し恩返しをと、三菱関連の皆さんが、清掃や施設の塗装などをしました。

5月11日には、西日本三菱自動車販売岡山支店の総社店が、岡山自動車道の側道(黒尾)で草刈りやごみを回収。5月23日には、三菱自動車水島製作所が、総社中学校をはじめ、小学校や公園12か所で、草刈りやペンキの塗り直しなどをしました。

●ミニフォト

ペタンクを楽しむ



目標の球に向かって「えい！」

児童球技大会が5月24日、東公民館で開かれ、39チーム約230人の子どもたちがペタンクを楽しみました。ビュットと呼ばれる目標に近い球を投げたチームが勝つこの競技。会場は、一投ごとに起きる歓声に包まれていました。

前田喜代野さん100歳



市長から祝福される前田さん

5月20日に前田喜代野さん(長良)が100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。手先が器用で手芸を楽しんできた前田さん。長寿の秘訣を尋ねると、「昔からよく働いてきたこと」と笑顔で話してくれました。

福田加壽子さん100歳



市長から祝福される福田さん

6月10日に100歳の誕生日を迎えられた福田加壽子さん(日羽)。同5日に、県と市から記念品が贈られました。お孫さんの世話や農業をしてきた福田さん。長寿の秘訣は「物事を前向きに考え生活してきたこと」だそうです。

情緒あふれるこけ玉ができた



講師から作り方のコツを学ぶ

こけ玉作り講座が5月23日、清音公民館で開かれました。主婦ら約30人が参加。参加者は、丸くこねた土に、山野草を植え付け、土の部分を含むようにコケを張り付けていました。「玄関に飾ります」という声も聞かれました。

待ちに待った施設が完成



お礼を言う児童代表の2人

昨年4月に開始した阿曾小学校区の学童保育。同小の体育館の一室で行っていましたが、待望の独立した施設が完成し6月3日、児童や指導員、関係者ら約30人が完成を祝いました。「大切に使います」と、子どもたちは大喜びでした。

清音駅エレベーター使用開始



伯備線ホームのエレベーター

市が整備した清音駅自由通路のエレベーターが完成し、西側と伯備線・井原線のホームへ降りるエレベーターを、6月1日から使用を開始。東側のエレベーターは、今年12月完成予定の駅東側の整備にあわせて使用を始める予定です。